スポット

蛇石神社の由来と霊験

蛇石神社

阿蘇は外輪山に囲まれていた大きな湖水であった。大噴火により湖水の水は流れて有明海に流れ出た。

湖面の水位が下がるにつれて、中島の五岳の裾野も大きく広がり、各所には今も蛇の尾、船の尾、舟形、船繋石、蛇石、雷石、鯨石などの地名が名残をとどめている。

神話によれば、「赤水村という村があり、隼風とともに黒雨天を覆い、雷鳴とともに1条の竜巻天に沖するも、やがて巨岩の切れたるところ1尺あまりの白蛇居て不思議な霊験を現すので、村人たちは蛇石さんと崇め、小祠を建て祭りをするようになりたと。」記載されている。

赤水村の古老の語り継ぎによれば、約500年前の応仁の乱時代より語り継がれ、それ以前より更に1,000年以前から言い伝えられたとなっているので、今日からすれば1,500年前よりこの地に自然動物崇拝があったとみられる。

蛇石という巨岩は、上下二つに分かれて重なり、その裂け目に蛇が棲息し、現在も姿を見せることがある。何時のころより蛇が居たかは定かではないが、代々村人に崇められていたので、古くから居たのは疑う余地はない。

蛇石神社は昔より霊験厚く、今までに数多くのお礼の手紙等が寄せられています。
また、蛇は金運・豊穣の神として他の国でも崇められています。
●無事故祈願　●無病息災祈願　●病気回復祈願　●金運、宝くじ祈願
●試験合格、学業向上祈願　●事業達成祈願　●各種祈願

赤水蛇石神社氏子総代

（以上、蛇石神社立て看板より抜粋）

編集後記

昨年は、九州北部豪雨や長雨による災害と、大変な一年でした。政権も交代し、外交、TPP、消費税税制、戸別所得補償や、産業経済成長戦略会議等、市政に反映すること多く、災害復旧・復興や災害対策等、行政や議会活動を詳しく市民の皆様に必読できるように編集してまいります。

本年も、よろしくお願いいたします。

議会広報特別委員長
古澤國義

古澤委員長

井手委員

大倉副委員長

湯淺委員

田中委員

阿南委員

園田委員

読み易い誌面づくりに努めてまいりますので、ご愛読よろしくお願いします。

議会広報特別委員会

発行／阿蘇市議会　編集／阿蘇市議会広報特別委員会　TEL 0967-22-3279　FAX 0967-35-4750